

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2293 URL <https://www.takizawaham.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	29,458	△0.1	△216	—	△167	—	△191	—
2022年3月期	29,477	—	107	80.6	173	67.0	174	217.3
(注) 包括利益	2023年3月期		△137百万円(—%)		2022年3月期		156百万円(△47.6%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△93.03	—	△5.1	△1.3	△0.7
2022年3月期	85.11	—	4.6	1.3	0.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	12,774	3,657	28.6	1,781.14
2022年3月期	13,484	3,836	28.5	1,868.07

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,657百万円 2022年3月期 3,836百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	281	12	△729	1,701
2022年3月期	962	△138	△421	2,137

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	41	23.5	1.1
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	—	22.8	—

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,510	6.7	80	—	90	—	60	—	29.22
通 期	31,850	8.1	260	—	280	—	200	—	97.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	2,102,000株	2022年3月期	2,102,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	48,447株	2022年3月期	48,369株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	2,053,609株	2022年3月期	2,053,631株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	29,327	△0.1	△207	—	△166	—	△186	—
2022年3月期	29,354	—	118	△3.6	174	12.1	176	△40.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	△90.77		—					
2022年3月期	86.10		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	12,700	3,642	28.7	1,773.92
2022年3月期	13,411	3,827	28.5	1,863.97

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,642百万円 2022年3月期 3,827百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,440	6.7	90	—	60	—	29.22
通期	31,700	8.1	280	—	200	—	97.39

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結貸借対照表関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当連結会計年度に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の解除により経済活動の正常化に向けた動きが緩やかに進む中、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引締め、物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰、物価上昇による個人消費の減退など、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは感染予防対策の徹底を継続し、商品の安定供給を図ってまいりました。また、業務改革を推進して原価低減や生産性の向上を図り全体経費の抑制に努めるとともに、原材料の安定した仕入れと仕入価格の低減を図るため、新たな原産地の開拓等を行ってまいりました。しかしながら、急激な原材料価格やエネルギーコストの上昇に対して企業努力だけでは吸収することが難しく、価格改定を実施し収益の安定化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、物価上昇による個人消費の減退から販売数量が減少したことにより294億58百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少および原材料価格やエネルギーコストの高騰から、営業損失2億16百万円（前年同期1億7百万円の営業利益）、経常損失1億67百万円（前年同期1億73百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失1億91百万円（前年同期1億74百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

## 食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ハム・ソーセージ等の販売数量が減少いたしました。この結果、この部門の売上高は121億46百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

## 惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、CVS向け惣菜品の売上が減少いたしました。この結果、この部門の売上高は49億64百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

## 食肉部門

食肉部門につきましては、輸入食肉は売上が減少いたしましたが、国産食肉は豚肉の売上が増加いたしました。この結果、この部門の売上高は122億15百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

## その他部門

その他部門につきましては、外食部門等の売上高は1億30百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

## ② 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

事業部門別	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	比較増減	前年同期比 (%)
食肉加工品	12,219,421	12,146,961	△72,460	99.4
惣菜その他加工品	5,198,109	4,964,395	△233,713	95.5
食肉	11,937,029	12,215,840	278,811	102.3
その他	122,881	130,952	8,071	106.6
合計	29,477,441	29,458,149	△19,291	99.9

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産・負債

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ7億9百万円減少し127億74百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億35百万円、有形固定資産合計が4億53百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ5億30百万円減少し91億17百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億14百万円、リース債務が1億79百万円減少したことによるものであります。

## ② 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比べ1億78百万円減少し36億57百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上等により利益剰余金が2億32百万円減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4億35百万円減少し17億1百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

営業活動の結果得られた資金は2億81百万円（前年同期比70.7%減）となりました。主な内訳は、減価償却費7億64百万円、税金等調整前当期純損失1億29百万円、棚卸資産の増加98百万円、売上債権の増加53百万円であります。

投資活動の結果得られた資金は12百万円（前年同期1億38百万円の支出）となりました。主な内訳は、投資有価証券の売却による収入1億24百万円、有形固定資産の取得による支出82百万円、無形固定資産の取得による支出45百万円であります。

財務活動の結果支出した資金は7億29百万円（前年同期比73.0%増）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出5億39百万円、リース債務の返済による支出5億9百万円、長期借入れによる収入3億円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	26.5	26.1	27.4	28.5	28.6
時価ベースの自己資本比率(%)	45.3	45.8	47.6	45.2	47.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.3	12.3	9.3	5.9	18.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	27.3	10.1	13.7	19.9	6.5

自己資本比率：自己資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としていません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き緩やかではありますが経済活動の正常化が進んで行くものと思われま  
す。一方でウクライナを巡る国際情勢の動向や金融市場の変動などにより世界経済の悪化が懸念されることもあり、  
先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当業界におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰、物価高による消費の低迷、人件費や物流費の上  
昇など、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況におきまして、当社グループは、安全安心な商品の安定供給に引き続き取り組むとともに、この  
厳しい環境をチャンスと捉え収益の回復に努めてまいります。

営業面におきましては、新商品の開発・販売や業務提携先との協業、単品量販による販売量の回復を図ってまい  
ります。生産面につきましては、ISOや小集団活動の推進による品質の安定、集約生産や平準化によるコスト削  
減や生産性の向上に努めてまいります。仕入面につきましては、原材料価格の変動に対し規格や原産地の変更等で  
迅速に対応するとともに、生産部門において利便性の良い原料の安定確保に努めてまいります。

以上の施策により通期の業績につきましては、売上高318億50百万円、営業利益2億60百万円、経常利益2億80百  
万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、世界情勢や国内の動向等現時点で見込める影響を考慮しておりますが、今後  
の状況により業績予想の修正をする可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しておりま  
す。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、コストベネフィットを比較考量した結果や海外展  
開していない現況を踏まえ、当面適用しないとの結論に至っております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,363,482	1,927,678
売掛金	2,750,792	2,803,738
商品及び製品	1,109,397	1,232,452
仕掛品	216,343	204,562
原材料及び貯蔵品	244,114	231,165
その他	57,476	57,957
貸倒引当金	△271	△281
流動資産合計	6,741,336	6,457,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,152,446	6,175,827
減価償却累計額	△4,483,014	△4,622,512
建物及び構築物(純額)	1,669,431	1,553,314
機械装置及び運搬具	1,723,089	1,722,839
減価償却累計額	△1,417,263	△1,466,019
機械装置及び運搬具(純額)	305,825	256,819
工具、器具及び備品	460,629	451,262
減価償却累計額	△362,583	△376,313
工具、器具及び備品(純額)	98,046	74,949
土地	1,633,539	1,620,657
リース資産	4,038,624	4,244,466
減価償却累計額	△2,807,465	△3,265,577
リース資産(純額)	1,231,159	978,889
建設仮勘定	-	-
有形固定資産合計	4,938,002	4,484,629
無形固定資産	71,609	97,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,482,912	1,456,964
退職給付に係る資産	20,186	29,698
その他	233,705	253,108
貸倒引当金	△3,649	△4,031
投資その他の資産合計	1,733,155	1,735,740
固定資産合計	6,742,766	6,317,593
資産合計	13,484,102	12,774,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,423,429	2,405,995
短期借入金	2,829,109	2,904,332
1年内償還予定の社債	40,000	-
リース債務	493,505	398,231
未払金	467,670	460,188
未払法人税等	60,002	26,422
賞与引当金	113,353	100,637
役員賞与引当金	7,519	-
その他	360,457	308,406
流動負債合計	6,795,047	6,604,213
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,205,782	991,031
リース債務	869,563	689,993
繰延税金負債	102,157	179,561
執行役員退職慰労引当金	7,617	9,488
退職給付に係る負債	330,633	310,710
その他	136,978	132,194
固定負債合計	2,852,732	2,512,979
負債合計	9,647,779	9,117,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,663,532	1,431,418
自己株式	△4,799	△5,033
株主資本合計	3,423,657	3,191,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,895	451,525
退職給付に係る調整累計額	3,770	14,838
その他の包括利益累計額合計	412,665	466,363
純資産合計	3,836,323	3,657,673
負債純資産合計	13,484,102	12,774,866

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	29,477,441	29,458,149
売上原価	25,183,306	25,479,716
売上総利益	4,294,134	3,978,432
販売費及び一般管理費	4,186,843	4,195,399
営業利益又は営業損失(△)	107,290	△216,967
営業外収益		
受取利息	179	180
受取配当金	29,672	29,479
補助金収入	42,027	20,437
受取賃貸料	30,413	31,746
その他	20,897	16,376
営業外収益合計	123,189	98,220
営業外費用		
支払利息	45,872	43,769
その他	10,682	5,044
営業外費用合計	56,554	48,813
経常利益又は経常損失(△)	173,926	△167,560
特別利益		
固定資産売却益	11,636	9,920
投資有価証券売却益	69,158	33,319
特別利益合計	80,795	43,240
特別損失		
固定資産売却損	-	1,284
固定資産除却損	14,562	3,057
減損損失	7,402	783
特別損失合計	21,965	5,124
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	232,756	△129,445
法人税、住民税及び事業税	50,143	17,789
法人税等調整額	7,822	43,806
法人税等合計	57,966	61,595
当期純利益又は当期純損失(△)	174,789	△191,040
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	174,789	△191,040

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	174,789	△191,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,545	42,630
退職給付に係る調整額	10,537	11,067
その他の包括利益合計	△18,007	53,697
包括利益	156,782	△137,342
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	156,782	△137,342

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,519,546	△4,799	3,279,671
当期変動額					
剰余金の配当			△30,804		△30,804
親会社株主に帰属する当期純利益			174,789		174,789
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	143,985	—	143,985
当期末残高	1,080,500	684,424	1,663,532	△4,799	3,423,657

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	437,440	△6,767	430,673	3,710,345
当期変動額				
剰余金の配当				△30,804
親会社株主に帰属する当期純利益				174,789
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28,545	10,537	△18,007	△18,007
当期変動額合計	△28,545	10,537	△18,007	125,977
当期末残高	408,895	3,770	412,665	3,836,323

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,663,532	△4,799	3,423,657
当期変動額					
剰余金の配当			△41,072		△41,072
親会社株主に帰属する当期純利益			△191,040		△191,040
自己株式の取得				△234	△234
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△232,113	△234	△232,347
当期末残高	1,080,500	684,424	1,431,418	△5,033	3,191,310

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	408,895	3,770	412,665	3,836,323
当期変動額				
剰余金の配当				△41,072
親会社株主に帰属する当期純利益				△191,040
自己株式の取得				△234
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	42,630	11,067	53,697	53,697
当期変動額合計	42,630	11,067	53,697	△178,649
当期末残高	451,525	14,838	466,363	3,657,673

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	232,756	△129,445
減価償却費	766,516	731,460
減損損失	7,402	783
引当金の増減額(△は減少)	10,657	△20,148
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△20,186	△9,511
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9,586	7,237
受取利息及び受取配当金	△29,851	△29,659
支払利息	45,872	43,769
固定資産除却損	14,562	3,057
固定資産売却損益(△は益)	△11,636	△8,636
投資有価証券売却損益(△は益)	△69,158	△33,319
売上債権の増減額(△は増加)	45,186	△53,448
棚卸資産の増減額(△は増加)	54,297	△98,324
仕入債務の増減額(△は減少)	△130,737	△17,434
未払消費税等の増減額(△は減少)	54,684	△45,992
その他	55,033	1,142
小計	1,015,813	341,528
利息及び配当金の受取額	29,851	29,659
利息の支払額	△48,412	△43,138
法人税等の支払額	△34,592	△46,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,659	281,880
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△4,758	△4,633
投資有価証券の売却による収入	95,804	124,035
有形固定資産の取得による支出	△211,488	△82,179
有形固定資産の売却による収入	299	24,420
固定資産の除却による支出	△3,371	-
無形固定資産の取得による支出	△7,900	△45,995
貸付けによる支出	△11,050	△2,500
貸付金の回収による収入	8,780	1,152
定期預金の増減額(△は増加)	△3	△3
会員権の取得による支出	△4,350	△6,600
会員権の売却による収入	-	4,350
その他	4	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,033	12,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	100,000
長期借入れによる収入	700,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△534,263	△539,528
社債の発行による収入	196,382	-
社債の償還による支出	△240,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△516,674	△509,017
配当金の支払額	△30,844	△41,084
その他	3,617	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421,782	△729,863
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	402,843	△435,807
現金及び現金同等物の期首残高	1,734,907	2,137,750
現金及び現金同等物の期末残高	2,137,750	1,701,942

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、現在係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,868円07銭	1,781円14銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	85円11銭	△93円03銭

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	174,789	△191,040
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△) (千円)	174,789	△191,040
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,053	2,053

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,836,323	3,657,673
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,836,323	3,657,673
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	2,053	2,053

(重要な後発事象)

該当事項はありません。